

広島県立庄原実業高等学校卒業 岩本朱美さん(岩本観光リンゴ園)



岩本 朱美 (いわもと あけみ) さんの紹介

平成 5年6月 広島県庄原市東城町生まれ (24歳)
平成 21年3月 庄原市立東城中学校卒業
平成 24年3月 広島県立庄原実業高等学校食品工学科卒業
平成 26年3月 広島県立農業技術大学校卒業
卒業後と同時に岩本観光リンゴ園に就農就農

○岩本朱美さんの就農までの道

農業高校
(庄原実業高等学校)

県立農業技術大学校
(落葉果樹コース)

就農
(岩本観光リンゴ園)

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？ 農業を仕事にしようと思ったきっかけは？

中学生の時、リンゴ園を継ごうと思うようになりました。その頃から、私はお菓子作りが好きだったので、「将来、リンゴを使ったお菓子や加工品が作れたらいいな。」と思ったので、食品の加工が学習できる広島県立庄原実業高等学校の食品工学科に入学しました。

高校や大学校で学んだことは？

高校では食品製造実習があり、ケーキやパンなどの食品製造の基礎をしっかりと学ぶことができ、今では、料理とお菓子作りが趣味となりました。大学校では、落葉果樹コースを専攻し、リンゴやブドウ、ナシ、モモなどの果樹栽培の基礎を学びました。私の実家ではブドウも栽培しており、大学校卒業後は、ブドウを主に任せてもらえるようになりました。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

やはり、秋にリンゴやブドウの果実が実ったのを見ることと、お客さんの「おいしい。」という声を聴けることです。1年中外での仕事がほとんどで、真夏の暑い日や冬の寒い日もあり、体力がいる仕事です。果実の収穫は1年に一回しかありません。毎年同じようにはいかず、うまくいかない年もありますが、秋になると「1年間、頑張ってきたよかった。」と思えます。



就農先の紹介

標高 600mの高原で、30 品種以上のリンゴをはじめ、少量ではありますが、ブドウもシャインマスカットやクイーンニーナ、ピオーネなど7品種を栽培しています。リンゴ園では、9月上旬から 11 月下旬までリンゴ狩りが楽しめます (リンゴは食べ放題)。リンゴやブドウを楽しんだ後には、広島牛の焼肉コーナーもあり、家族やお友達ともたくさん楽しむことができます。ジャムや搾りたての生ジュースも購入できます。